

## 1. 市の概況

- 東京から約60km、栃木県南部に位置
- 南北を国道4号・新国道4号、東西を国道50号が通る
- 南北に東北新幹線・JR宇都宮線、栃木方面にJR両毛線、水戸方面にJR水戸線

- 小山市の昼夜間人口比率は100
- 特に下野市、野木町、結城市との結びつきが強い

- 2015年時点では、小山駅東側で人口密度が高い
- 2040年までに、小山駅周辺や市街化区域北側で人口密度が低下する一方で、美しが丘地区周辺や東城南地区周辺、犬塚地区周辺での人口集積が今後も進む見込み。

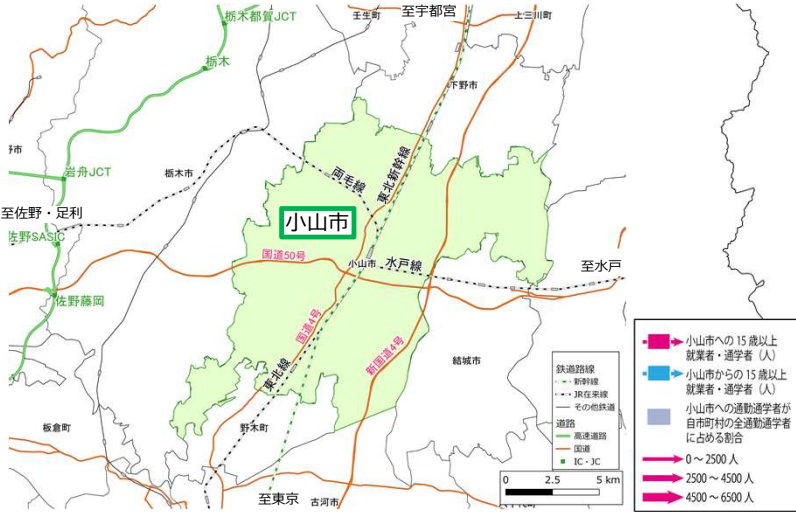


図 小山市の位置

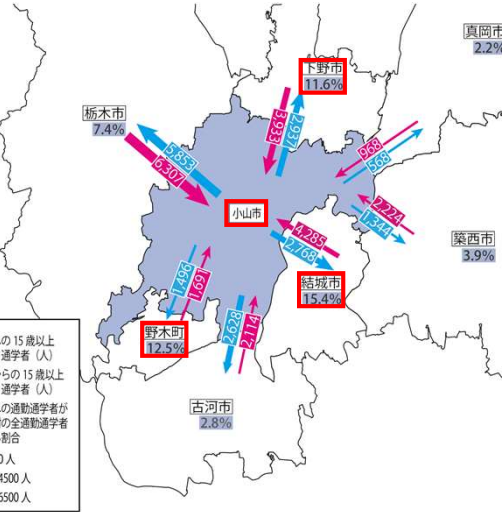


図 隣接市町間との通勤・通学流動

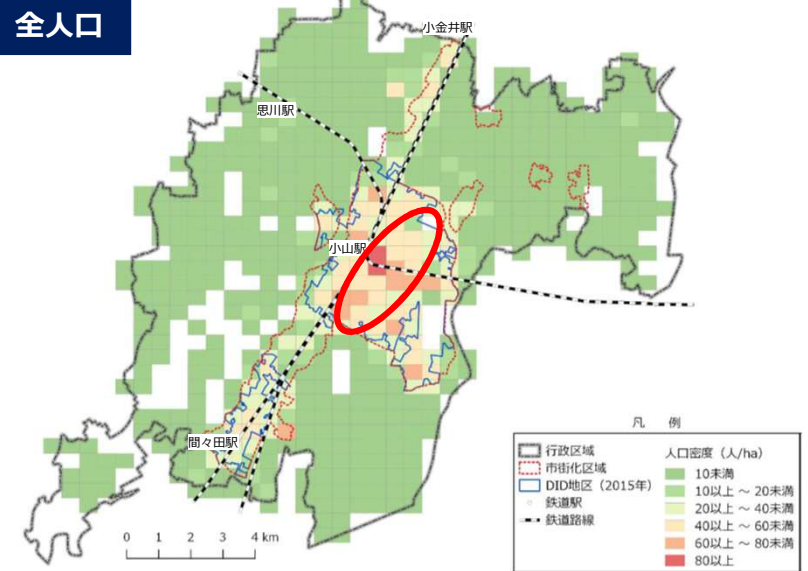
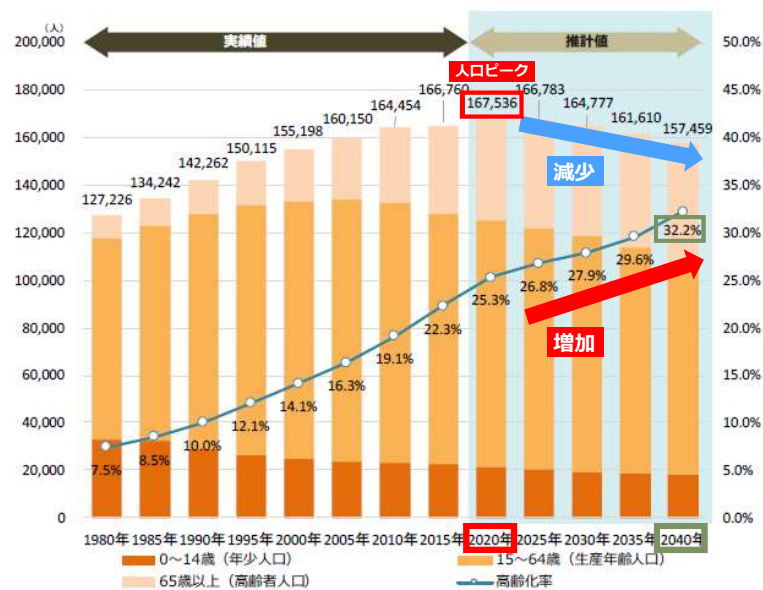


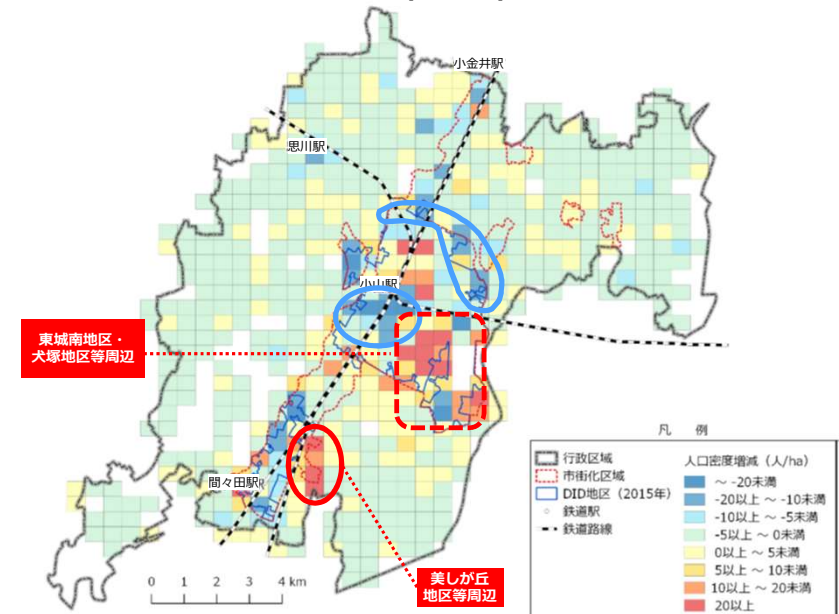
図 人口密度(2015年)



出典: 実績値: 総務省国勢調査 (各年度)、推計値: 国立社会保障・人口問題研究所 (2020年) 出典: 小山市立地適正化計画(素案)

図 人口推移

- 市の人口は約16.7万人 (2015年時点)
- 人口の伸びは近年鈍化しており、2020年をピークに減少見込み
- 高齢化率が2040年には3割を超える見込み



出典: 国立社会保障・人口問題研究所(2018年) 図 人口密度の増減 (2015年~2040年の変化)

- 市街化調整区域での高齢化率の増加が顕著であり、また、小山駅周辺でも2040年には高齢化率40%になる場所も見られる

## 高齢者

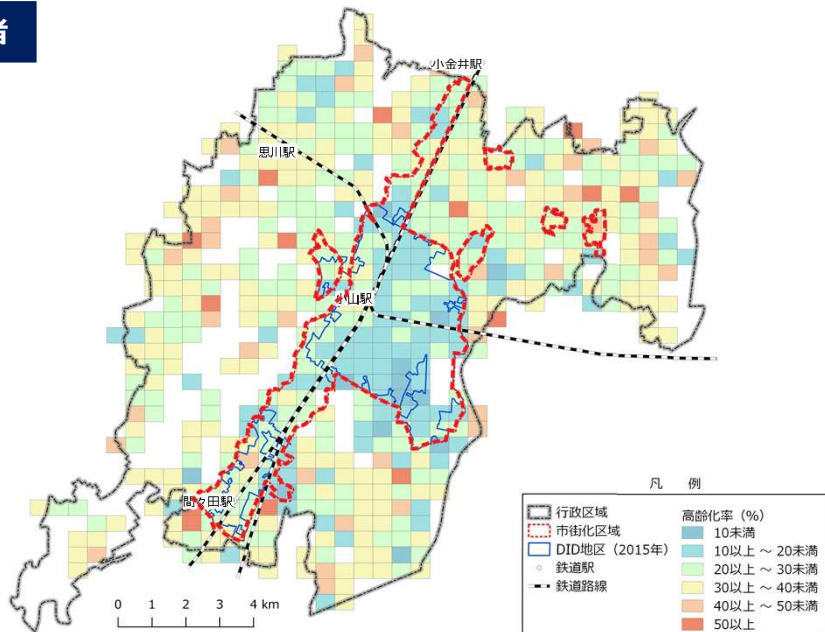


図 高齢化率(2015年)

出典：平成27年国勢調査

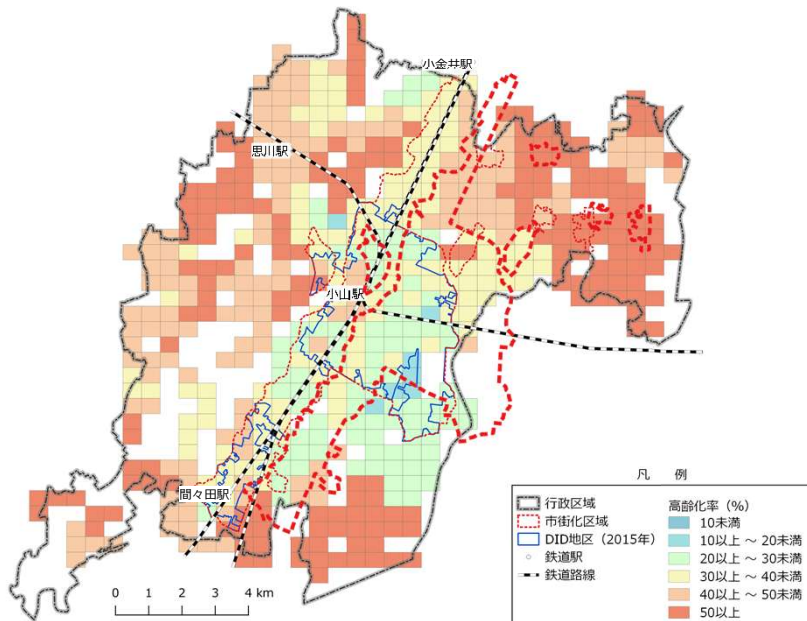
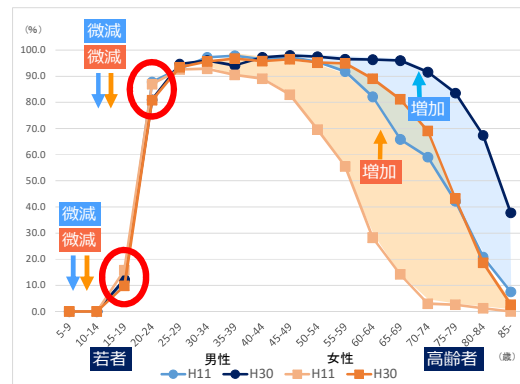


図 高齢化率(2040年)

出典：国立社会保障・人口問題研究所(2018年)

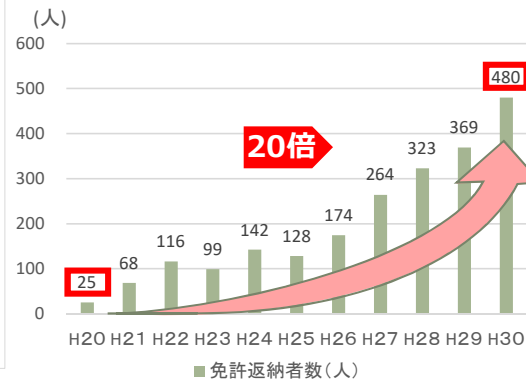
- 特に高齢者の免許保有率の増加が著しい
- 15~24歳の若者の免許保有率はやや減少傾向



出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 運転免許保有率の推移

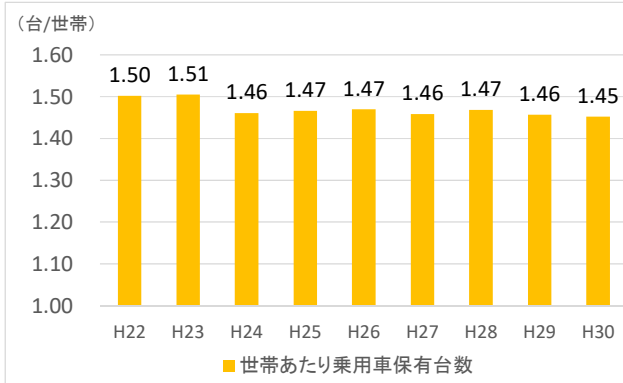
- 小山市における年間免許返納者数は年々増加しており、平成20年から10年間で約20倍(25件⇒480件)に増加



出典：小山市警察署 提供資料

図 小山市における年間免許返納者数

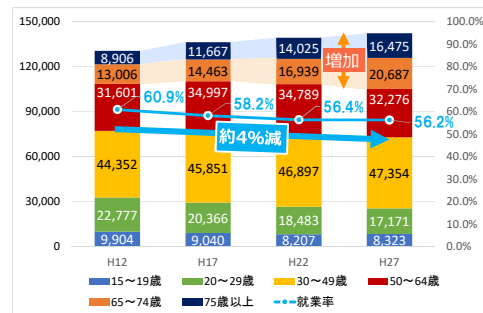
- 乗用車の世帯あたり保有台数は1.46台/世帯前後で横ばい



出典：小山市統計年報および小山市住民基本台帳より算出

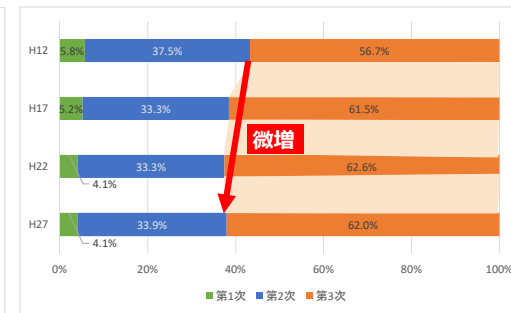
図 乗用車の世帯あたり保有台数の推移

- 就業率は過去20年で約4%減少しているが、高齢者就労等が増加する可能性
- 産業別就業人口構成比は第3次産業割合が微増



出典：国勢調査

図 市の15歳以上の人口と就業率の推移



出典：国勢調査

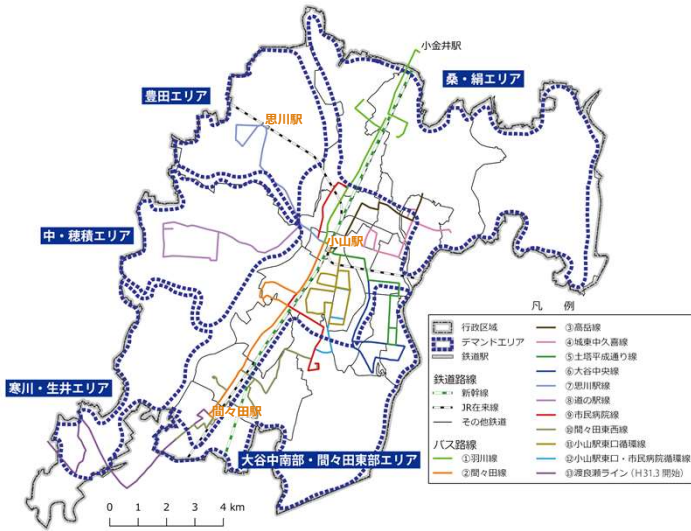
図 市の産業別就業人口比



# 市の交通の現況について

## 2. 市の交通の概況

### 2-1. 公共交通



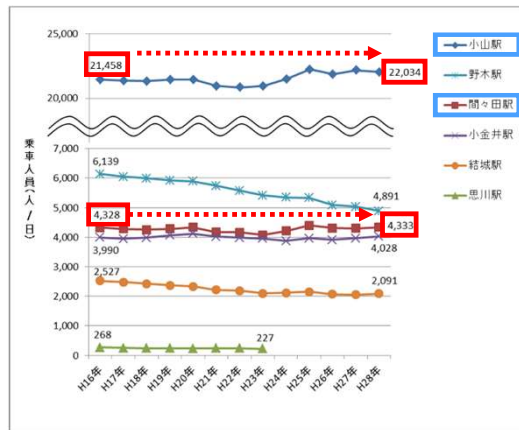
出典：小山市オープンデータ「おーぼす時刻表」、小山市資料

図 公共交通網(鉄道路線・バス路線)

- 市内の鉄道路線は、市域中央を縦断するJR宇都宮線及びJR東北新幹線、栃木市・佐野市・群馬県方面へと至るJR両毛線、茨城県結城市・水戸市へと至るJR水戸線の4路線
- 市内の駅は、小山駅、間々田駅、思川駅の3駅
- 路線バス13路線と郊外部において5つのエリアを設定したデマンドバスが運行

### ■ 鉄道

- 鉄道乗車人員数は、小山駅約2万人/日、間々田駅約4千人/日と横ばい状態

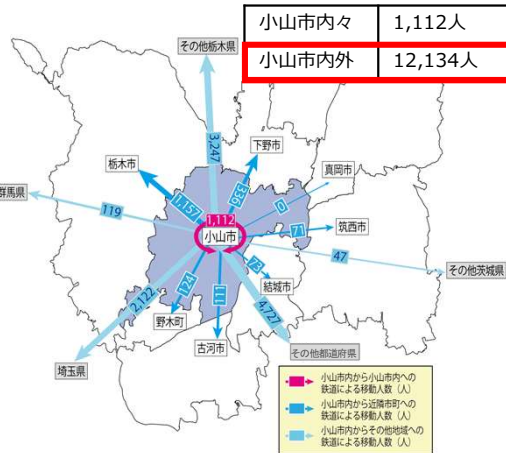


※栃木県統計年鑑では平成24年度以降駅員無配置駅を統計に含めていないため、思川駅の平成24年度以降はデータなし

出典：JR 東日本HP 1日平均乗車人員及び栃木県統計年鑑

図 乗車人員の推移

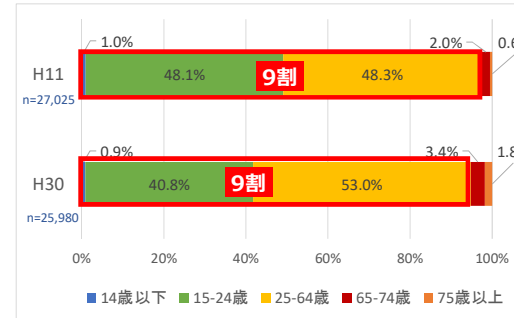
- 鉄道は、主に小山市内外間の移動手段として利用される



出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 鉄道による市内からの発生交通量

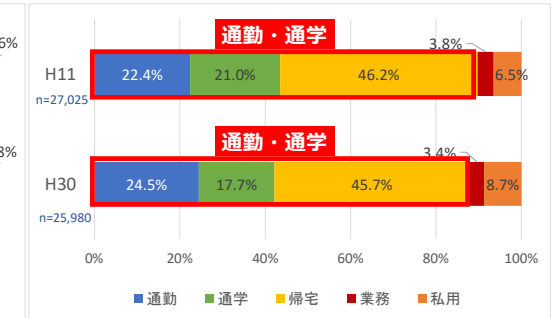
- 15-64歳以下の世代による鉄道利用が9割以上



出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

図 鉄道利用者の年齢構成

- 帰宅目的を含めるとほぼ通勤・通学目的による移動と考えられる



出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

図 鉄道利用者の利用目的構成

### ■ バス

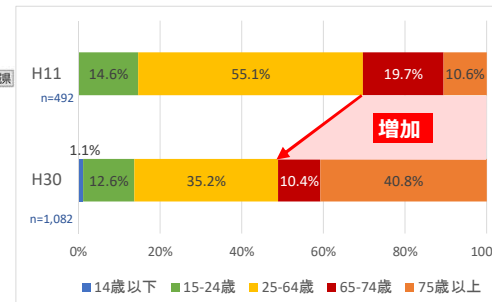
- コミュニティバス利用者数は年々増加



出典：小山市資料

図 コミュニティバス年間利用者数の推移

- 高齢者の利用が全体の約半数に増加

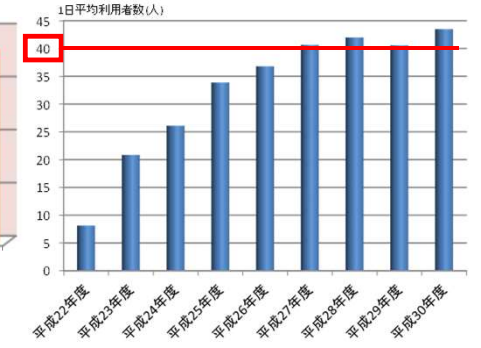


※コミュニティバス・デマンド交通を含む

出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

図 バス利用者の年齢構成

- デマンド交通の利用者数は約40人/日と少ない状況

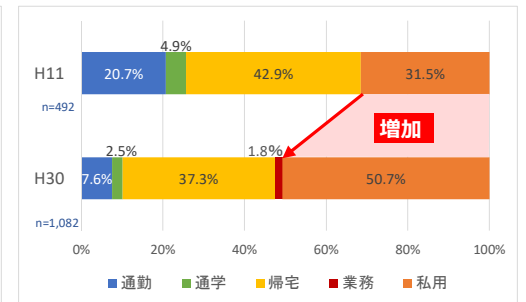


※平均月20日運行として、年間データより1日の利用者数を算出

出典：小山市資料

図 デマンド交通年間利用者数の推移

- 私用による移動が約3割から5割に増加



出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

図 バス利用者の利用目的構成

# 市の交通の現況について

## 2. 市の交通の概況

### 2-2. 道路交通

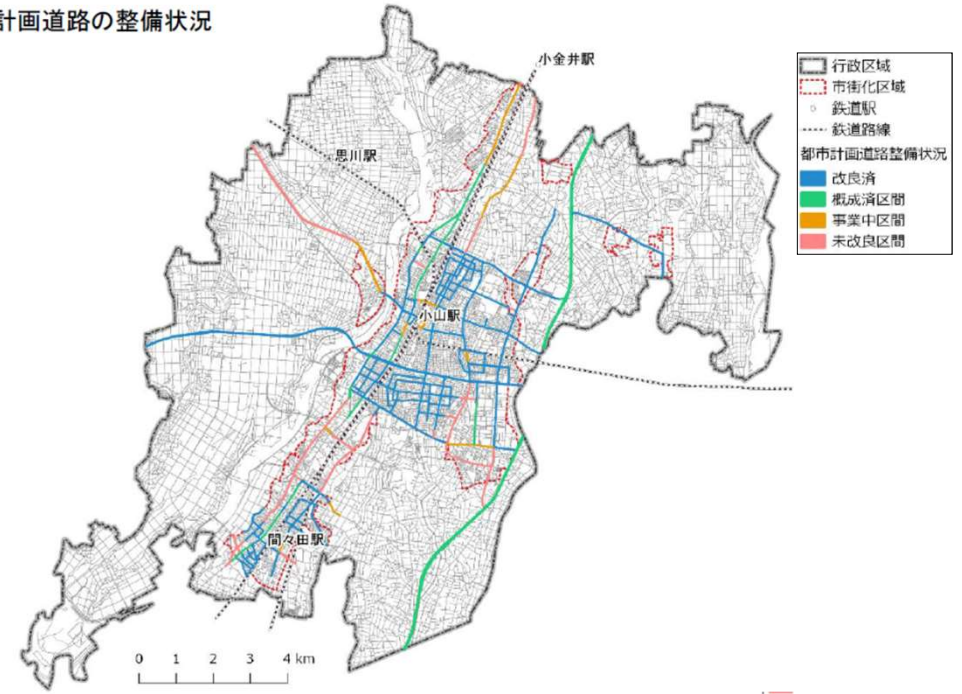
- 市内を国道4号、新国道4号が縦断、東西を国道50号が横断
- 国道50号や国道4号について、特に小山駅周辺において渋滞が発生

- 都市計画道路の整備率は74.0%(2017年3月時点)
- 駅から離れた地域に未改良区間が見られる

#### ■都市計画道路の整備状況

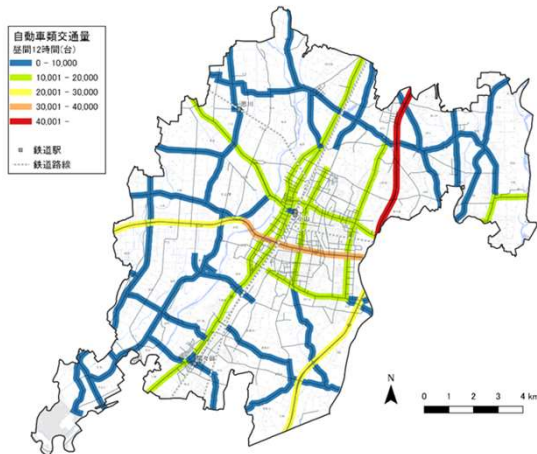


図 主要道路網



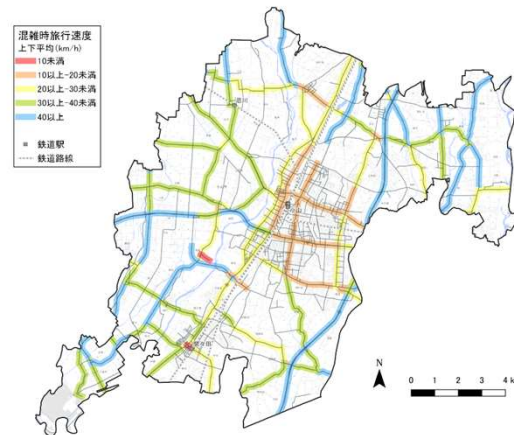
出典：小山市都市計画基礎調査(2016年度)

図 都市計画道路の整備状況



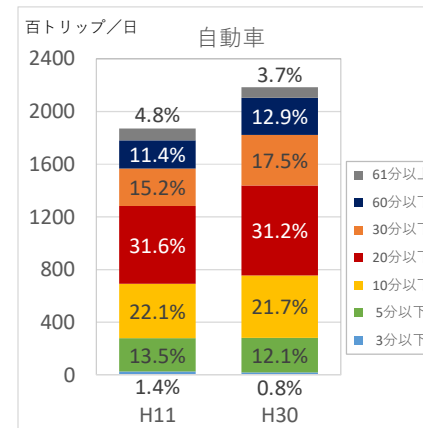
出典：平成27年道路交通センサス、国土地理院地図

図 自動車交通量



出典：平成27年道路交通センサス、国土地理院地図

図 混雑時旅行速度



出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

図 自動車の平均所要時間別トリップ数

- 自動車利用のうち約3割は10分以下の短距離トリップでの移動

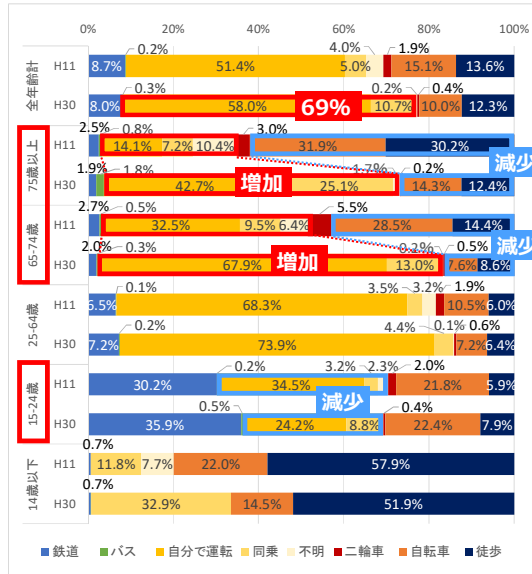
※トリップ：「どのような人が」「いつ」「どのような目的・交通手段で」「どこからどこへ」移動したかを調査した人の動き



# 市の交通の現況について

- 自動車利用割合は69%と依然として高く、特に65歳以上の高齢者において利用割合が約2倍増加している一方で、徒歩・自転車による移動が減少。
- 子供の自動車による移動(同乗・送迎)も増加傾向にある。
- 一方で、15-24歳の若者の自動車利用割合は減少しており、若者の車離れの傾向が見られる。

※代表交通手段：トリップの中で利用した主な交通手段

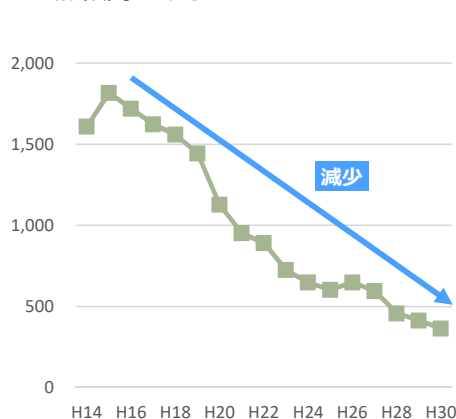


出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

図 年齢階層別の代表交通手段構成比

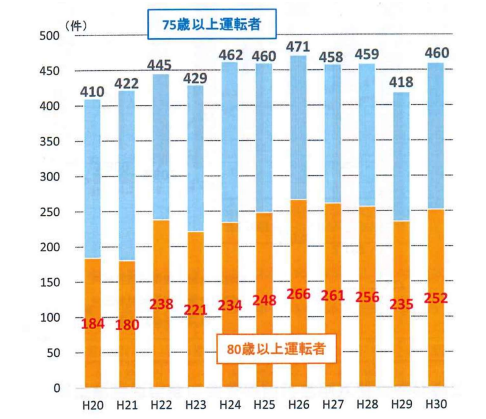
## 2-3.交通安全

- 交通事故発生件数は減少傾向にある一方で、高齢者の事故発生件数は全国的に増加傾向にある。



出典：小山市統計年報

図 年間交通事故発生件数の推移

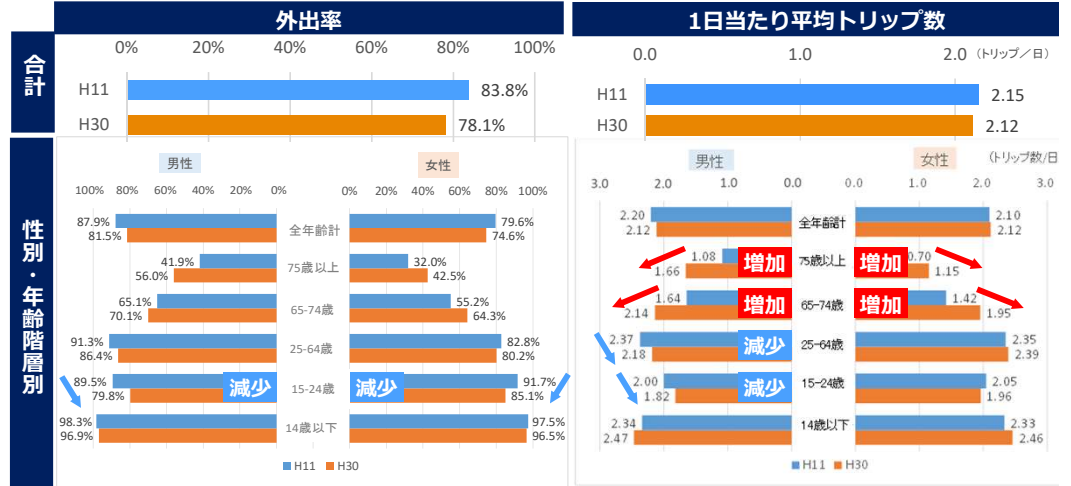


出典：警察庁資料

図 高齢運転者による交通事故件数の推移

## 3. 個人属性から見た交通特性

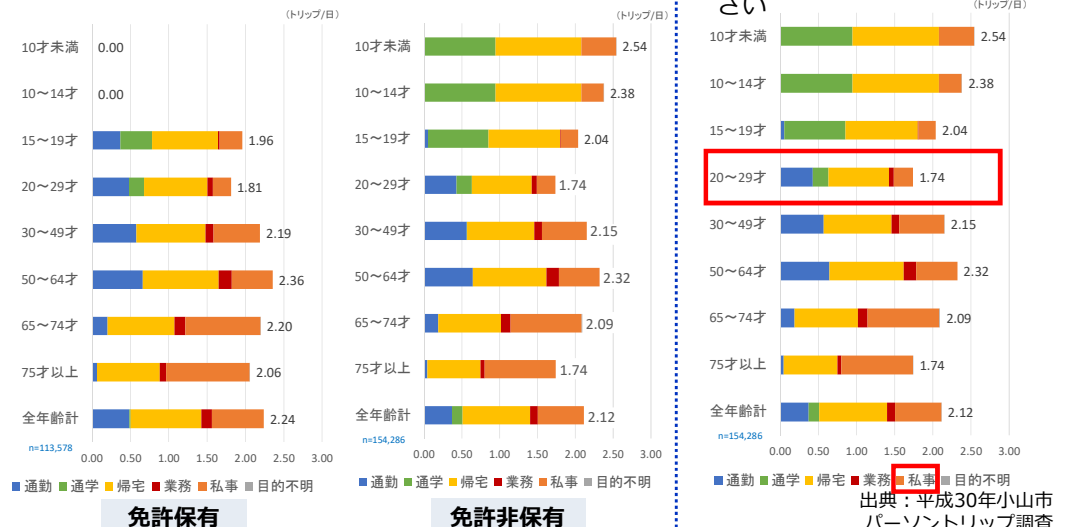
- 男女ともに65歳以上の階層で平均トリップ数が増加傾向にある(0.4~0.6回/日)
- ただし、依然として2人に1人は外出していない状況
- 15-64歳の男性の平均トリップ数は減少している
- 特に15-24歳の若者の外出率が減少傾向



出典：平成11、30年小山市パーソントリップ調査

### ■ 免許保有者と非保有者

- 免許を持たないの方が、免許を保有する者の平均トリップ数に比べて小さい

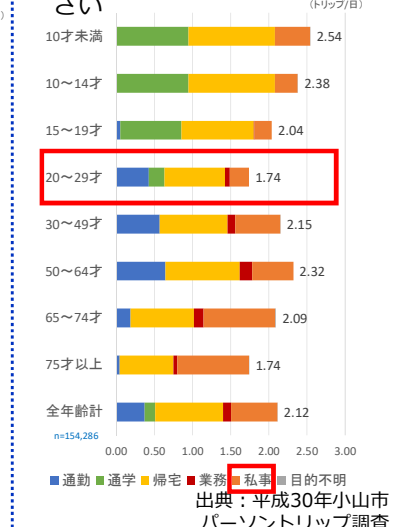


出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 年齢別・免許保有状況別1日あたり平均トリップ数

### ■ 若者

- 64歳以下の働く世代のうち、20歳代の若者の平均トリップ数は他の年齢層に比べて小さく、特に私用目的での平均トリップ数が小さい



出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 年齢階層別1日あたり平均トリップ数

# 市の交通の現況について

## ■高齢者

- 免許を持たない高齢者は外出しない、また外出しても移動頻度は多くない傾向

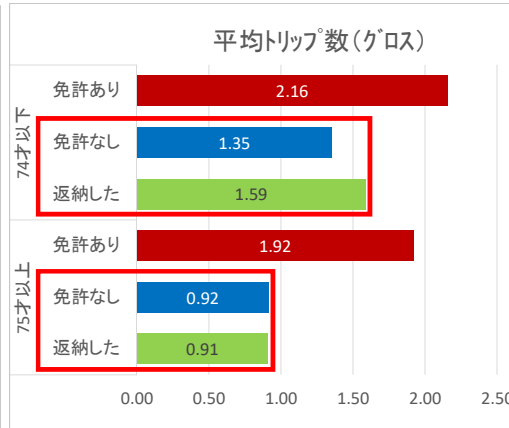
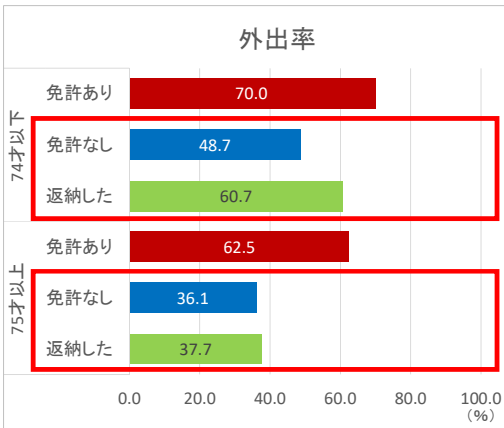


図 高齢者の免許保有状況別の外出率・平均トリップ数

- 高齢者は私事目的(特に買い物)での移動が多い。

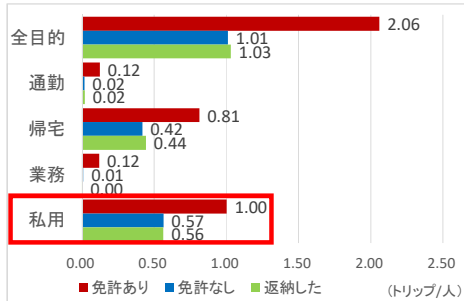


図 高齢者の目的別平均トリップ数

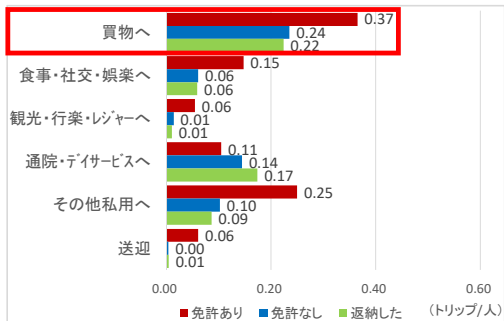


図 高齢者の私用目的の内訳別平均トリップ数

- 免許を持たない高齢者は徒歩や自転車での移動が多い。
- 免許返納者は免許非返納者に比べてバスを利用する傾向

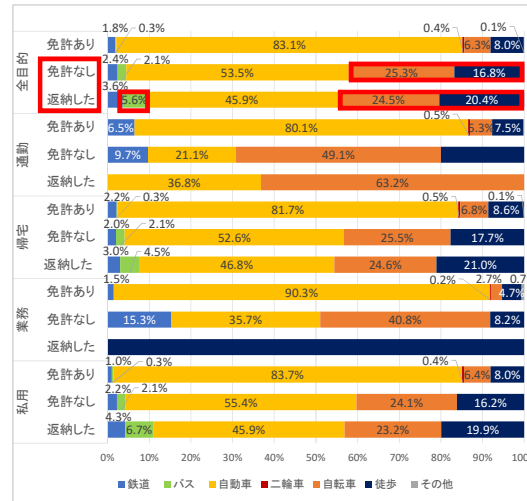
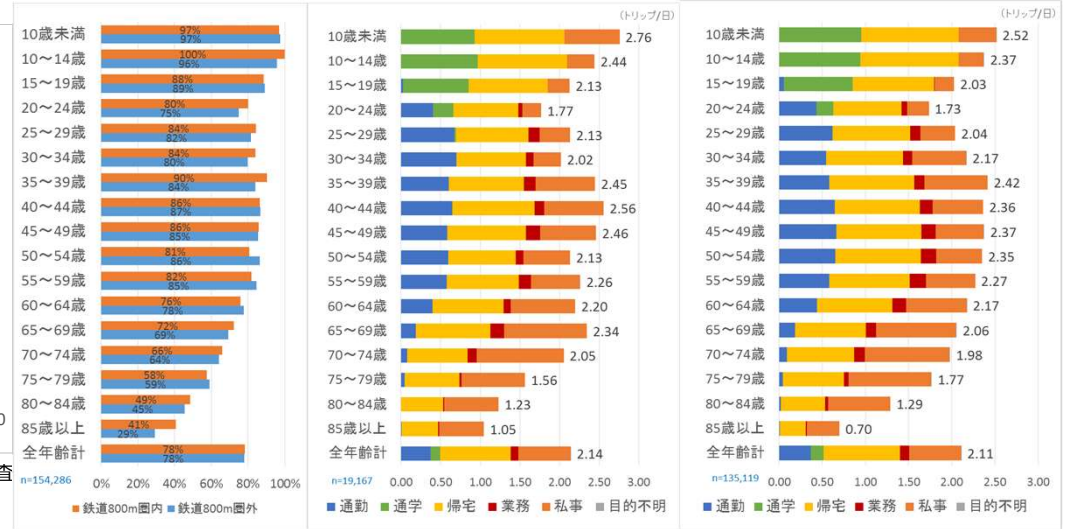


図 高齢者の目的別免許保有状況別代表交通手段構成比

## ■公共交通の利便性

- 鉄道へのアクセス性の高い地域の居住者は平均トリップ数が高い傾向



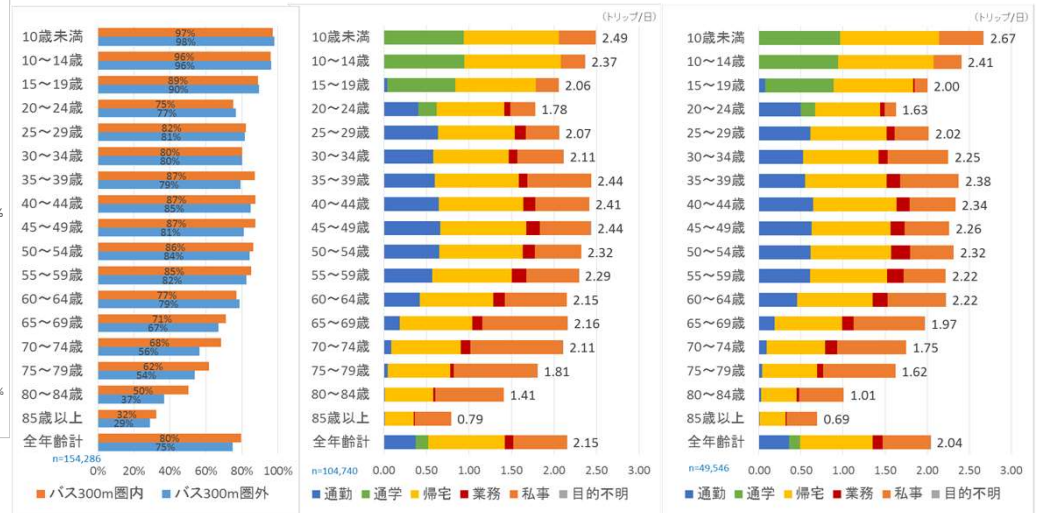
鉄道駅800m圏内居住者

鉄道駅800m圏外居住者

図 鉄道へのアクセス性別の外出率

図 鉄道へのアクセス性別の平均トリップ数

- バス停まで300m圏内に居住する大人(特に高齢者)は外出率・平均トリップ数が高い傾向



バス停300m圏内居住者

バス停300m圏外居住者

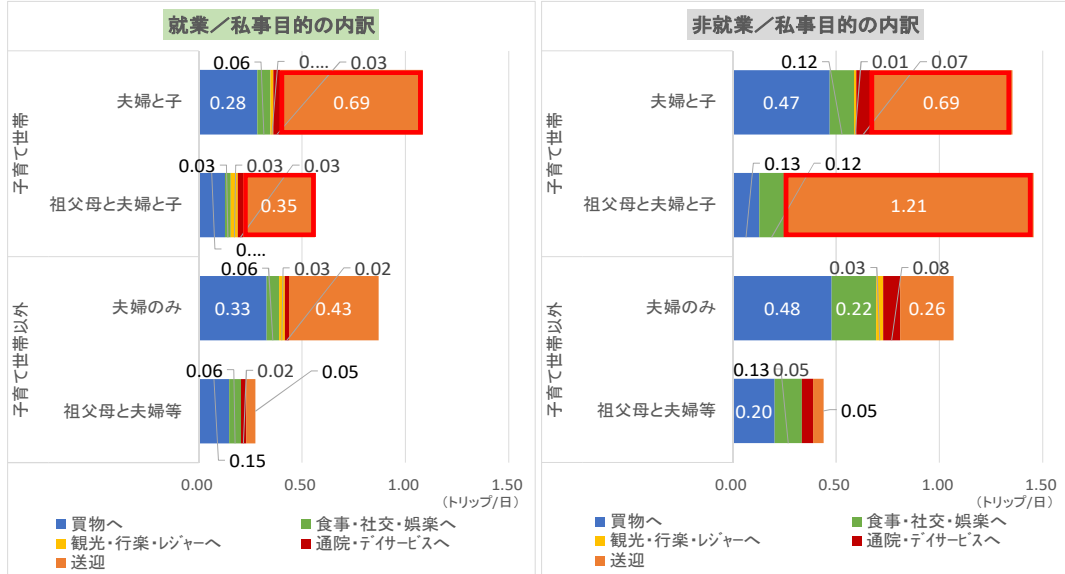
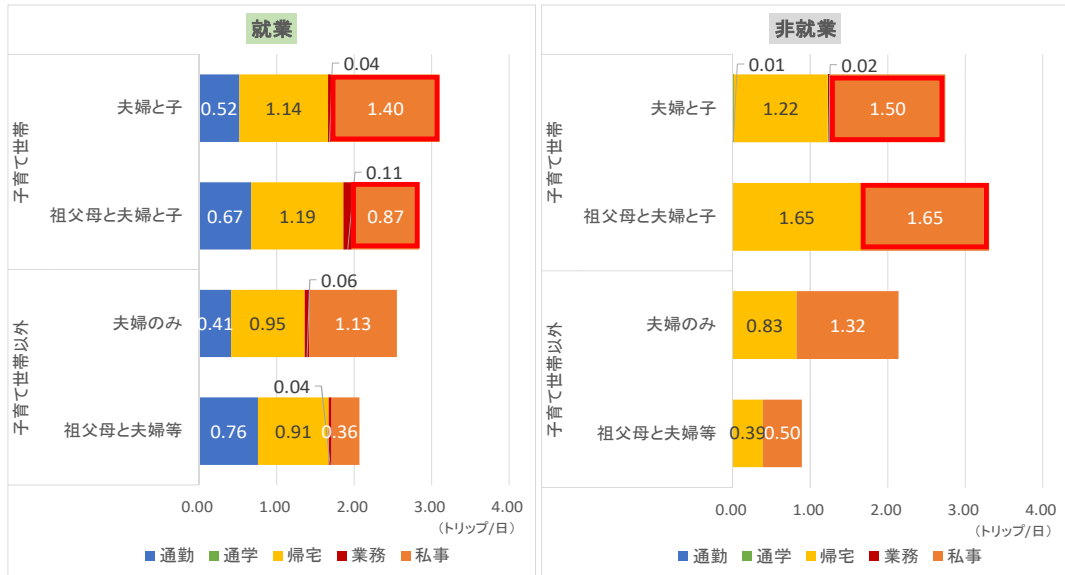
図 バスへのアクセス性別の外出率

図 バス停へのアクセス性別の平均トリップ数

# 市の交通の現況について

## 子育て世代

- 子育て世帯の方が、私事トリップ数が多い傾向にある。
- また、就業していない女性の方が私事トリップ数が多い傾向にある。
- 私事目的の内訳を見ると、子育て世帯の方が送迎トリップが多い傾向にある。



※子育て世帯：18歳以下の子どもがいる世帯と定義

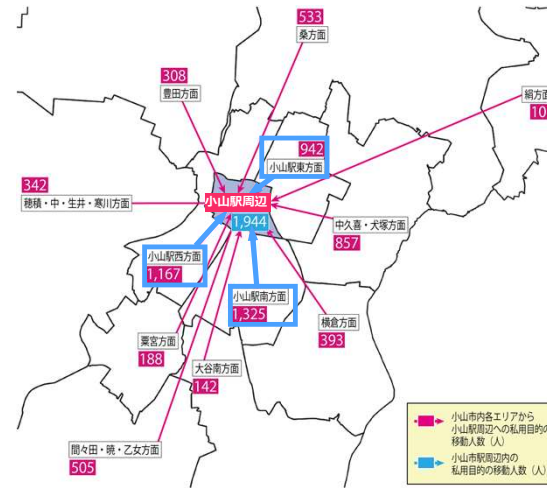
※上図と下図では、集計する目的区分が異なるため、平均トリップ数の合計は一致しない。

出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 30～45歳女性の就業状況別・子どもの有無別・世帯構成別1日あたり平均トリップ数

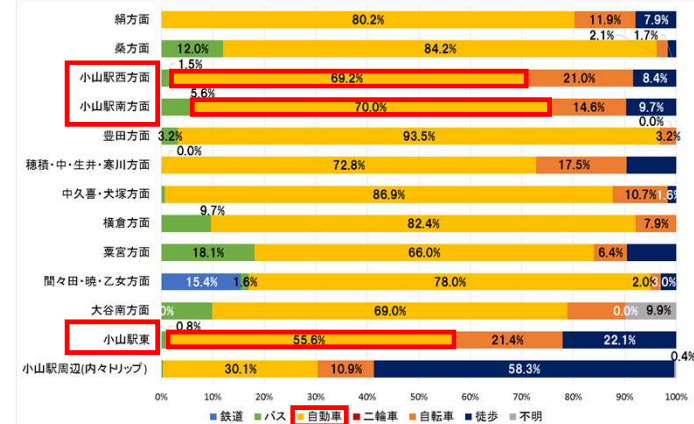
## 4. 土地利用と交通特性

小山市の中心拠点である小山駅周辺への移動特性に着目して分析。



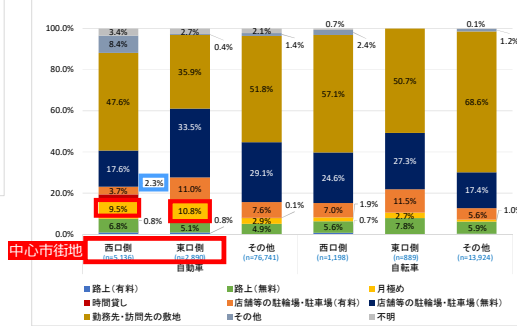
出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 雇用目的での中心市街地へのトリップ数



出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 雇用目的での中心市街地へのトリップの発地点別代表交通手段構成比



出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

図 中心市街地(小山駅西口・東口周辺)における駐車・駐輪形態

- 中心市街地(小山駅西口・東口周辺)に近い小山駅東・西・南方面から、中心市街地へのアクセスが比較的多い

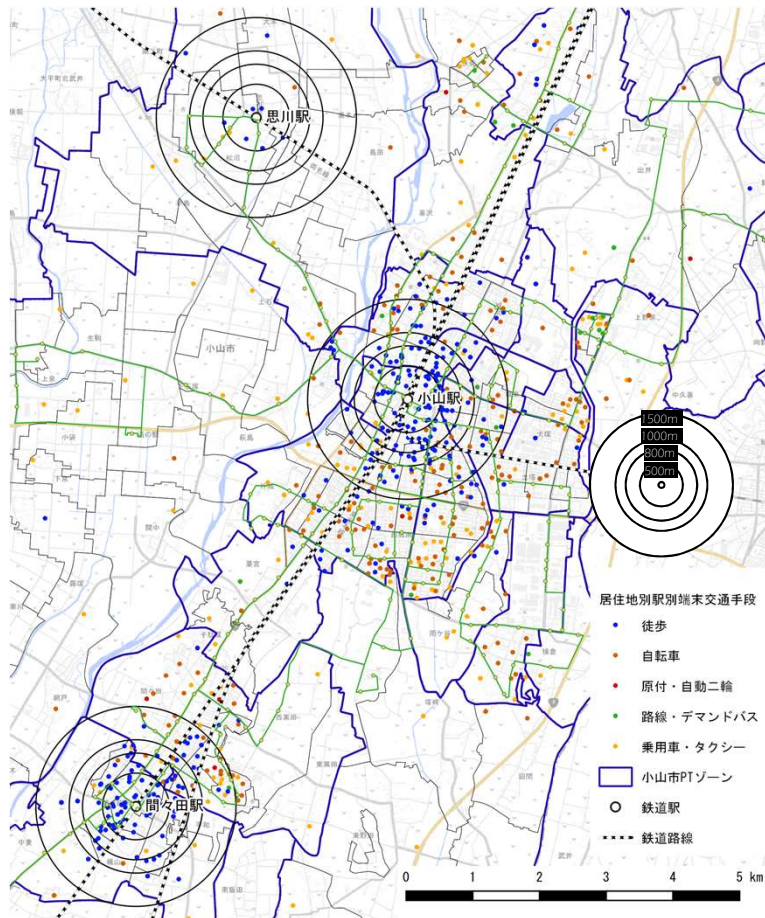
- 自動車での中心市街地への移動が多く、中心市街地周辺の小山駅東・西・南方面でも5～7割が自動車移動である。
- 中心市街地内々における自動車移動は3割と、他に比べて低い



## 5. 交通施設整備状況と交通特性

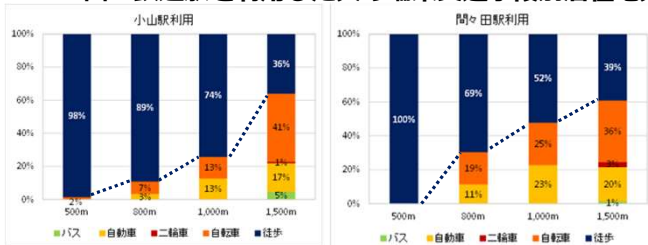
### ■鉄道

- 小山駅から800m圏内に居住する人は、ほとんどの人が徒歩で駅にアクセスしており、800~1500m圏域になると、自転車や自動車でのアクセスが増加
- 間々田駅から500m以上離れた地域に居住する人は、自転車や自動車でのアクセスが増加
- バスでのアクセスはほとんど見られない



出典：平成30年小山市パーソントリップ調査、国土地理院地図

図 鉄道駅を利用した人の端末交通手段別居住地分布



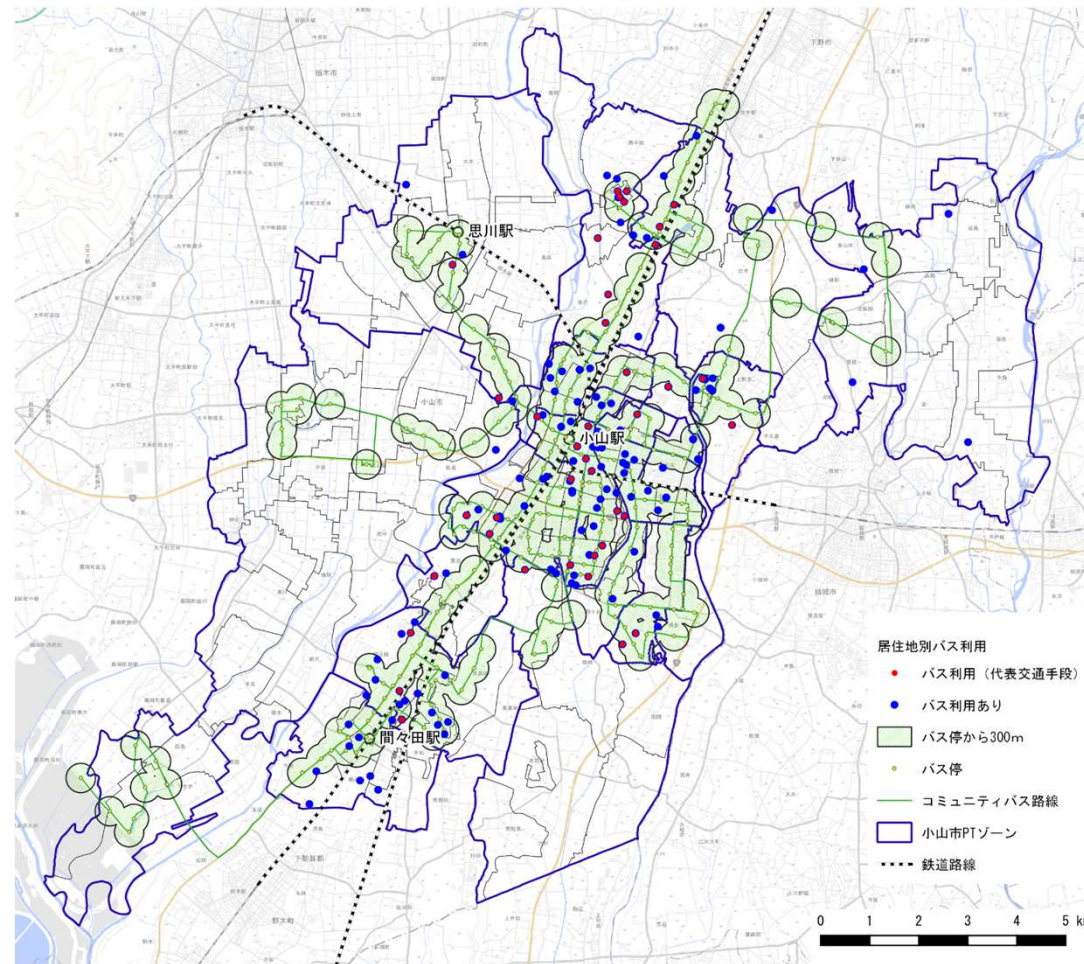
※思川駅は距離帯別のサンプル数が少ないため、省略

図 鉄道駅別の端末交通手段構成比

出典：平成30年小山市パーソントリップ調査

### ■バス

- ほとんどのバス利用者が、バス停から300m圏内に居住
- 小山駅周辺や間々田駅周辺の居住者による利用が多く見られる



※平成30年小山市パーソントリップ調査時点では、渡良瀬ラインは未運行

出典：平成30年小山市パーソントリップ調査、国土地理院地図

図 バス利用者の居住地分布